

王天然 さん/王天然 女士

復旦大学日本研究センター ポストドクター/復旦大学日本研究中心 博士后

編集者より：国際交流基金では、次世代の日本研究を担う若手研究者が将来国際的・学際的な研究者として活躍できるよう、ネットワークを構築し、協働研究を実践する力を養うプログラムとして、2018年度から「次世代日本研究者協働研究ワークショップ」を実施しています。2019年度に同ワークショップに博士課程の学生として参加した王天然さんにお話を伺いました。

「次世代日本研究者協働研究ワークショップ」の概要については、以下のページからご覧いただけます。

编者按：

旨在将肩负下一代日本研究事业的青年学者培养成为国际性、跨学科领域的研究者，为其构筑起相互联系的网络，培养其开展合作研究的实践能力，日本国际交流基金会自 2018 年开始实施“下一代日本研究者工作坊”。此次我们采访了曾于 2019 年作为学生参加过该工作坊的王天然女士。

关于“下一代日研研究者工作坊”的概要，请访问以下网址：

○次世代日本研究者協働研究ワークショップ (JF 公式ウェブサイト) / 下一代日本研究者工作坊 (日本国際交流基金会网站)

<https://www.jpf.go.jp/j/project/intel/study/network/workshop/index.html>

日 時 : 2022 年 1 月 24 日

時 間 : 2022 年 1 月 24 日

場 所 : 復旦大学日本研究センター

地 点 : 復旦大学日本研究中心

使用言語: 日本語及び中国語

使用语言: 日语、中文

聞き手 : 野口裕子

采访者 : 野口裕子

(国際交流基金北京日本文化センター)

(北京日本文化中心 (日本国際交流基金会))

【略歴】

1990 年河南省生まれ。河南大学外国語学院日本語学科を卒業後、同済大学日本文学研究科(修士)、復旦大学日本文学研究科(博士)。2019 年、国際交流基金主催の「第 2 回 次世代日本研究者ワークショップ」に参加。2020 年から復旦大学日本研究センターポストドクター。2023 年より東京大学東洋文化研究所客員研究員。

【简历】

1990 年生于河南省。毕业于河南大学外国语学院日语系，在同済大学日本文学研究系获得硕士学位，在復旦大学日本文学研究系获得博士学位。2019 年参加日本国際交流基金会在东京举办的“下一代日本研究者工作坊”。2020 年进入復旦大学日本研究中心进行博士后研究。2023 年至今为东京大学东洋文化研究所访问学者。

【本文】

※インタビュー対象者の使用した言語に基づいて整理しています。(下線部は日本語でのご発言部分) / 根据采访对象所使用的语言来整理。(下划线部分为受访者用日语发言的部分。)

——今日はよろしく願います。日本や日本語との出会いを含めて、自己紹介をお願いできますか。

はい。大学の時は日本語を専攻しました。なぜ日本語を勉強したかっていうと、言葉を勉強するのは私の趣味でしたけど、英語はちょっと嫌だったからです。母は英語の教師なので、中学高校時代にもし日記とか書くときに英語で書けば、他のクラスメートだと秘密の内容になりますけど、私の場合は母に文法のミスとか指摘されますので、すごく嫌でした。なので、英語以外の言葉を勉強したかったんです。でも大学の時に外国語学院で学べるのは三つの言葉しかなかったんです。英語と日本語とロシア語。その中で、日本語が一番これからの進路にいいかなって思って、本当はとても功利的な考えで日本語にしました。

でも勉強していくうちに、やっぱり日本は面白い国で、面白い文化を持っていることが分かって、だんだん好きになってきました。そして大学を卒業して、大学院に入って、日本文学を勉強しました。博士の時には日本現代の女性作家の作品に集中して論文を書きました。女性の文学はとても魅力的で、私自身の生活や考え方にもとても近いですから、(女性としてのいろいろな問題の答えをそこから得ることができて)とても興味深く感じて、ずっと研究をしました。博士を卒業してからは、同じ大学のポストドクターとして、今は政治学の研究をしています。

——「次世代日本研究者協働研究ワークショップ」に参加された時のことをお話しいただけますか。

私は2019年に「次世代日本研究者協働研究ワークショップ」に参加しました。私は博士3年生でした。ちょうど博論、卒業論文を書く一番難しい、厳しい時期だったので、正直言うと最初は迷っていました。でも自分の視野が広がられて、本当に良かったと思います。

若手研究者ワークショップに参加した時初めて、こんなに多い海外の学生さんにお会いすることができました。普段は日本とか韓国とかの研究者にお会いしてコミュニケーションすることはありますが、アジアの他の国、例えばインド、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ミャンマーとかの方々にお会いしてコミュニケーションするチャンスはめったにありませんでした。

皆さんと一緒に日本で見学もしましたし、共同研究もしました。グループに分かれて一緒に共同研究しましたが、グループメンバーの皆さんは、それぞれ違うご出身とか専門とかなので、最初に共通の研究テーマを探すのはとても難しかったです。そして、その研究を展開していくのも、本当に難しかったです。皆さんの立場とか考え方とか研究の方法論とかは全部ちがうからです。

私にとってワークショップに参加するのはとてもチャレンジでしたし、何よりも勉強ができて本当に良かったと思います。

——「最初に共通の研究テーマを探すのはとても難しかった」とのことですが、もう少し詳しく伺えますか？ 您能举个例子介绍一下吗？

因为我们首先要确立我们的研究题目，但是我们组当时有研究经济的、研究教育的，还有研究政治的，然后我是研究文学的，大家都是“バラバラ”的各种各样的研究内容。然后要确定一个每个人都感兴趣并且每个人都能够研究起来的研究题目本身就是一件非常困难的事情。考虑其他人的研究的内容，每个人都要进行很多的让步，然后最终达到了共同的研究题目，然后根据那个题目每个人再陈述自己的观点。当时我们的题目应该是稍微有点敏感的一个题目，当时是“平和主義”，就是“日本是一个和平主义的国家吗？”，打了问

号的，并且是“内から外”、从内到外探讨。我们就根据题目，有人是从政治的角度去写，有人是从教育的角度去写，像我当时负责文学这一板块。当时就感觉，同一个题目可以从这么多不同的领域去出发，然后展开，我当时觉得非常地触动。

それから半年ぐらいで私は博士を卒業して、復旦大学日本研究センターのポスドクとして就職しました。今までは文学だけに集中していましたが、これからは文学の方法も使って、文学だけではなくて、日本の社会、例えばジェンダーとか、高齢化少子化の問題とか、こういう、日中が共に関心を持っている課題により深く研究をしていきたいと思っています。

またこれからは、ワークショップから得た経験をちゃんと生かして、自分の日本研究を深めていきたいです。できれば一人前の研究者にもなりたいですし、日中交流の懸け橋にもなっていければいいなと思っています。

ワークショップでは、もちろんみんなの出発点は日本研究ですね、でも日本研究を通して、日本だけでなく、アジアを見る、世界を見るということはとても大事じゃないかなって思っています。

——「日中が共に関心を持っている課題」については、どのようなテーマが思い浮かびますか？また、多くの課題は日本で先に発生していますが、逆に中国の経験が生かせる分野はあるでしょうか。

现在还是在研究的过程之中，只能说比如“ジェンダーの問題（编注：性别问题）”，中日两国都有很多的问题，比如说日本出现了家庭主妇的问题，还有女性自杀率比较高的问题。还有同工不同酬，非正式雇佣员工，等等。这些问题其实在中国也是有些苗头的，就是两国可以共同进行探讨吧，就是找到解决的很现实的社会问题的一些方法和途径。高龄化少子化更是这个样子。因为日本在这方面可能问题发生的时间比较久了，然后在中国也逐渐出现了类似的一些苗头，那么如何能够把这些问题的不良影响降到较低的程度，我觉得，中日两国研究者是非常有合作的空间的。

我现在觉得应该是跟科技的发展可以联系在一起。因为日本在发生这些问题的时候，其实早已经在 7、80 年代就开始有苗头了，现在已经过去了几十年的时间，那么如何把科技，AI 还有一些技术的发展运用到一些这样的领域里面去，然后让大家可以有尊严地变老，等等的这些问题还是有蛮多可以值得探讨的地方的。

——ありがとうございました。

公開：2023 年 3 月 30 日